

22 日獣発第 142 号

平成 22 年 8 月 6 日

地方獣医師会会長 各位

社団法人 日本獣医師会  
会長 山根 義久  
(公印及び契印の押印は省略)

### 口蹄疫現地防疫業務支援要員の派遣について

本件につきましては、平成 22 年 5 月 19 日付け 22 日獣発第 62 号により支援要員候補者の募集等について依頼したところ、全国各地から地方獣医師会会員獣医師をはじめ多数の方々に応募いただきました。本会におきましては、農林水産省及び現地宮崎県からの要請に基づき、防疫専門技術の経験等を考慮し、派遣をお願いする獣医師の方々の本人の意向等を聴した上で決定させていただいたところであります。

防疫支援業務に従事された方々は、梅雨の長雨という悪天候と猛暑の中、早朝から夕刻まで、肉体的にも精神的にも多大な負担を有しながら、長期にわたる様々な現場防疫用務に従事されましたことに改めて敬意を表すとともに、獣医師としての責務を真摯に果たされた姿勢は社会的にも高く評価され、農林水産省からは別添写しのとおり御礼の通知をいただいたところであります。

このたびの口蹄疫現地防疫業務支援要員派遣に対するご対応に重ねて感謝申し上げますとともに、引き続きご理解、ご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

本件のお問い合わせ先

事業担当 駒田・長野

TEL 03-3475-1601



22消安第3754号  
平成22年7月27日

(社)日本獣医師会会長 殿

農林水産省消費・安全局長



宮崎県における口蹄疫の発生に伴う防疫作業に係る人員の派遣について（御礼）

平素より家畜防疫の推進に御尽力いただき感謝申し上げます。また、宮崎県における口蹄疫対策に関して、会員の方々の派遣につきましては、緊急の要請にもかかわらず、長期にわたり御対応いただき心からお礼申し上げます。

宮崎県におきましては4月20日の口蹄疫の発生以降、全国から延べ約2万5千人の関係者の御支援、御協力を頂戴し、殺処分等のまん延防止措置を進め、7月27日午前0時をもって宮崎県内のすべての移動制限・搬出制限が解除されました。今後は、清浄化に向けて、ワクチン接種地域の農場内に残存する排泄物等の適切な処理等を実施することとしております。

貴会におかれましては、業務多忙な折、会員の方の派遣等、格別の御配慮、御芳情を賜わり、心よりお礼申し上げますとともに、派遣された職員の皆様方の健康にも御配慮いただくようお願い申し上げます。今後とも、家畜防疫の推進にご理解・御協力頂きますようお願い申し上げます。

